土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　一級河川 太田川水系 権地川支川 通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	B№.4	**調査位置**	広島市安佐南区 長東町			**北緯**	34° 25′ 45.90″
発注機関	広島県西部建設事務所			**調査期間**	2018年 1月 15日 ～ 2018年 1月 17日	**東経**	132° 26′ 29.20″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 127.88m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	**地盤勾配**	水平 0° 鉛直 90° 16°	**使用機種**	**試錐機**	東邦DO-C		
総削孔長	11.00m								**エンジン**	ヤンマーNFD-10	**ポンプ**	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
1	127.18	0.70		礫混じりシルト質砂		褐	rd1			植物根わずかに混入。Φ＝2～50㎜の亜円礫10～20%混入するシルト質粗砂。				1.15	1	2	1	4/300							
	126.88	1.00		玉石		淡褐灰	rd5			L＝7.5～11cmの玉石主体。基質はシルト混じり細礫。				1.45											
2	125.28	2.60		砂礫		灰褐	rd2			Φ＝2～60㎜の亜円礫を30～50%混入。基質はシルト混じり細礫主体。(GL-1.87～2.0m間は玉石。			50	2.15	5	8	37	50/300	300						
														2.45											
3														3.00	貫入不能			50/0							
														3.00											
4	122.53	5.35		玉石		灰	rd5			L＝9～180cmの硬質玉石主体。わずかに基質(シルト混じり細礫)を挟む。				4.00	貫入不能			50/0							
														4.00											
5	121.73	6.15		砂礫		灰褐	rd3			Φ＝2～70㎜の亜角礫、亜円礫を40～50%混入。基質は半固結状のシルト混じり細礫主体。			750	5.20	50/20			50/20	20						
														5.22											
6	120.43	7.45		玉石		灰	rd5			L＝55～75cmの硬質玉石。			375	6.00	50/40			50/40	40						
														6.04											
7	119.93	7.95		砂礫		褐	rd3			Φ＝2～60㎜の亜角礫を30～40%混入。基質は半固結状シルト質細礫。			16	7.45	4	6	6	16/60	60						
													250	8.00	50/60			50/60							
8														8.06											
9										ハンマー軽打で鈍い金属音し割れる。概ね柱状の固結真砂。(GL-7.95～8.1m・GL-8.9～9.1m・GL-9.6～9.75m・GL-9.9m付近はやや軟質で礫状となる。			300	9.00	50/50			50/50	50						
														9.05											
10										DH級。			300	10.00	50/50			50/50	50						
														10.05											
11	116.88	11.00		風化花崗岩		褐							508	11.00	50/30			50/30	30						
														11.05											